

WINE FOR PEACE NOT FOR WAR

セルジュ・ホシャル

ワインは  
最強の薬で  
最大の奇跡



幸福と生き方論

戦争中も不屈の精神で  
ワインを造り続けた  
レバノンのワインメーカー  
たちが語る



WINE and WAR

# 戦地で生まれた 奇跡の レバノンワイン

マーク・ジョンストン、マーク・ライアン  
監督作品

The Untold Story  
of Wine In  
The Middle East

ワイン界の著名人ジャンシス・ロビンソンやマイケル・ブロードベントなども登場！

出演：セルジュ・ホシャル、エリザベス・ギルバート、ジャンシス・ロビンソン、マイケル・ブロードベント、サンドロ・ザーデ、ファウジー・イッサ、ラムジー・ゴスン他  
配給：ユナイテッドピープル 95分/アメリカ/2020年/ドキュメンタリー

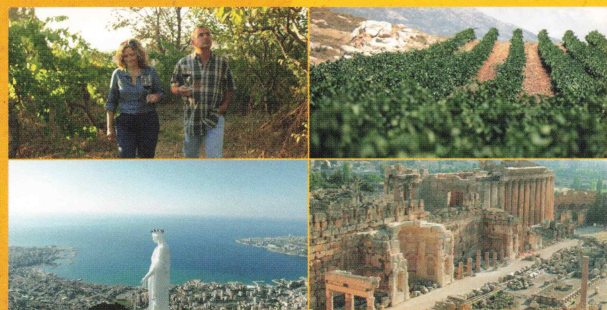
# レバノン

そこは世界で最も古く、  
そして危険なワイン生産地の一つ



『食べて、祈って、恋をして』著者で世界的ベストセラー作家エリザベス・ギルバートたちが  
あなたを魅惑的なレバノンワインの世界へと誘う――。

古くから地中海の交易の中心のひとつであった中東の小国レバノン。1975年から断続的に内戦や隣国との軍事衝突が続き、その不安定な情勢を報じられることが多いが、実は知られざる世界最古のワイン産地の一つだ。レバノンワインの起源は5千年前とも一説には7千年前ともされ、現在も約50のワイナリーが点在している。レバノン南部では2500年以上前のワイナリー遺跡も発見されている。本作は、世界的に高い評価を受けているシャトー・ミュザールの2代目で「レバノンワインの父」と評されているセルジュ・ホシャル他、戦争中もワインを作り続けてきた不屈のワインメーカーたちを紹介する。



爆弾が降り注ぐなか気づいた。

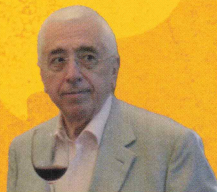
人生もゆっくり

味わうべきだと。

ー セルジュ・ホシャル

#### PROFILE

レバノンワインの可能性を世界に示して「レバノンワインの父」と呼ばれたシャトー・ミュザールの2代目。1984年の英国デカンタ誌でマン・オブ・ザ・イヤーを世界初受賞



#### 戦地で生まれた奇跡のレバノンワイン

監督：マーク・ジョンストン、マーク・ライアン  
脚本：マーク・ジョンストン、マーク・ライアン、マイケル・カラム  
プロデューサー：マーク・ジョンストン 出演：セルジュ・ホシャル、エリザベス・ギルバート、ジャンシス・ロビンソン、マイケル・ブロードベント、サンドロ・サーデ、ファウジー・イッサ、ラムジー・ゴスン他 配給：ユナイテッドピープル 95分/アメリカ/2020年/ドキュメンタリー



映画の上映会主催者募集!

詳しくは [cinema.info](http://cinema.info) へ

お問合せ [film@unitedpeople.jp](mailto:film@unitedpeople.jp)



毎日を可能な限りいい日にする。

感謝の気持ちを大事に、

何かを学ぶ機会と考え

毎日努力する。

ー ラムジー・ゴスン(マサヤ)

戦争ではなく平和をもたらすために内戦中にワイン造りを始めた修道院の神父。レバノンに加えて内戦下のシリアでもワイン造りを続ける兄弟。自分で身を守れるようにと11歳で鏡の扱い方を教えられ、父の遺志とワイナリーを受け継ぐ女性。内戦中、虐殺が起こった故郷の村で、村の再起のためにワイナリーを続ける夫婦。極限の状況でもワインを造り続けてきた11のワイナリーのワインメーカーたちが語る人生哲学や幸福に生きる秘訣とは? 「私がセルジュから学んだものは、ワインのことよりも人の生き方についてだった」と語る『食べて、祈って、恋をして』の著者エリザベス・ギルバートや、ジャンシス・ロビンソンらワイン界の著名人が、あなたをレバノンワインの世界へご招待する。



「ワインも人も同じ。」

すべての季節を見ずして判断を下してはならない。

急ぐな。」

セルジュの言葉に「達観の境地」を感じたわ。

ー エリザベス・ギルバート(『食べて、祈って、恋をして』著者)



マイケル・カラム著『レバノンのワイン』に着想を得たドキュメンタリー

2022

11.18(金)

アップリンク吉祥寺他  
全国順次ロードショー!

特別鑑賞券1,300円(税込) 絶賛発売中! [当日一般1,900円]

武蔵野市吉祥寺本町1丁目5-1 吉祥寺バルコ地下2階

UPLINK 吉祥寺

0422 (66) 5042

[joji.uplink.co.jp](http://joji.uplink.co.jp)